

総合的景観を重視した ランドスケープへ

リバーフロントという得難い自然環境と、恵まれた立地を生かし、やすらぎのある住環境整備をめざす「リバーシテイオ那珂川」は、河川の安全性を高めると同時に、多自然型の河川環境を創出する「那珂川ふるさと」の川整備事業「や、工場跡地やその周辺に職住接近型の都市型住宅から道路・公園・緑地までを整備する「那珂川リバーサイド」地区住宅市街地整備総合支援事業」など、複数の公共事業や民間開発事業で成り立っている。従来ならそれぞれが別々に実施されることを、当プロジェクトでは総合的景観デザインの観点からこれらを融合させ、相互に連係を取りながら進めている。重要なのは全体性、つまりトータルランドスケープである。

ひとつの構築物がどれほど完成度が高くても、まったく別の尺度で造られた種々雑多なライバルに囲まれたら、輝く個性も斬新なデザインもひとたまりもない。あらゆる風景は、自然の中に戸建てや集合住宅、店舗、工場、道路、橋、公園、街灯など実に多様な要素で構成されている。個々の魅力もさることながら、全体を見渡したときの印象も軽視できない。「リバーシテイオ那珂川」は、まちづくりのルールとなる景観形成方針及びガイドラインを固め、大局的視点で各事業主体が計画内容の調整を進めている。それは、植栽の種類や建築物の色彩にまで及ぶ。すべての事業の骨格とも言える基本理念は3つのキーワードで表現され、さらにそれは水、緑、風、川、まち、道の6つのテーマに細分化されている。

●景観形成の基本理念とテーマ

A 人と自然を結ぶ

那珂川の豊かな自然は、他の地域にはない最大の財産である。この那珂川の自然環境を十分に活用することが、魅力あるまちなみをつくる出発点となる。

B 人とまちを結ぶ

まちに住み働き憩う人々にとって、一番身近な風景は、まちを歩く道筋である。快適な歩行者空間は、まちの風景を実感し、愛着を持たせてくれる。まちと那珂川をめぐる魅力的な道筋をつないでいき、歩きたくなくなるまちなみをつくる。

C 人と人を結ぶ

まちなみは、人と人が交わり、共有する風景としてかけがえない価値を持っている。市民をはじめ多くの人々が協働して、それぞれの役割に応じたまちづくりを積極的に行うことが大切である。

テーマ

- ・ 水に親しむ環境をつくる。
- ・ 緑豊かなまちなみをつくる。
- ・ 風を感じるまちをつくる。
- ・ 川からの眺めを大切に。
- ・ まちなみにつながりと調和を与える。
- ・ 道筋を連続させる。

快適な住宅環境を いかにつくるか

今回のプロジェクトには、デイベロツパーとして株式会社本州コーポレーションと住宅・都市整備公団などが参画、ともに当プロジェクトの景観形成方針に沿った集合住宅の供給を目指す。渡る風を感じ、広がりのある空間を最大限に生かした住環境を意識した住宅だ。美野島では、本州コーポレー

地域の風景を デザインする 視線

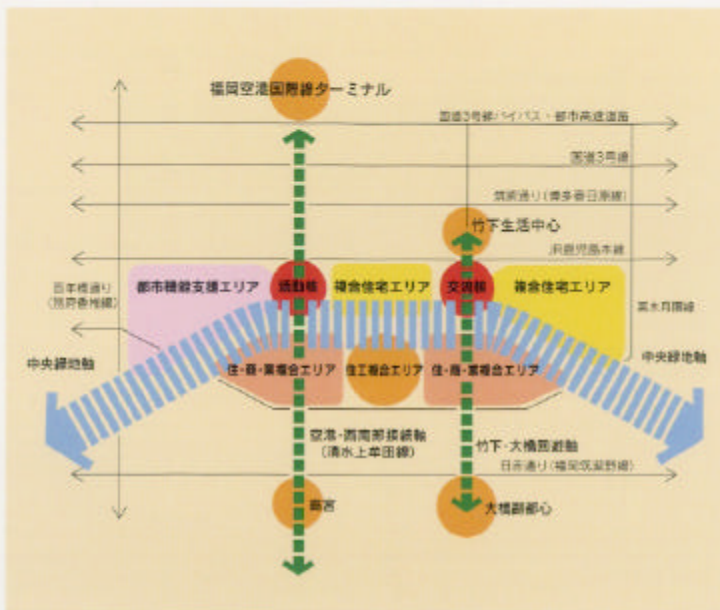
規制ではなく快適なルールを探る

大勢が集まれば互いの自由を尊重するための
ルールが必要になる。

縛るのではなく、コントロールのための約束事。

まちづくりも同様だ。

快適に過ごしたいから快適なルールが求められる。



パロス・リバーコート博多地下駐車場上部公園

シヨンの「パロス・リバーコート博多善念館」が完成し、分譲を開始している。窓を開ければ川と緑が目の前に広がり、自然の風が感じられる。また、敷地内は駐車場を地下に設け、地表を公園化。子どもたちが車を気にせず遊べる等、安全や環境にも配慮されている。今後、式番館から五番館まで次々に分譲を行う予定だ。一方の住宅・都市整備公団は、東京の隅田川流域の大規模再開発において類似のプロジェクトの経験がある。川沿いの工業地帯が産業構造の変換で住宅を中心とした都市計画に組み込まれるケースは、河川と住民の豊かな関係の復権を打ち出している点も合わせ「リバーシテイオ那珂川」との重なりも少なくない。美野島地区では既に196戸の賃貸住宅「アーベイン美野島」を供給済みである。清水地区では、平成15年までに約500戸の賃貸住宅「アーベインリビエ清水」の供給を予定しており、11年12月に1棟目が完成する。

景観ガイドライン(部分)

「りほんシティオ那珂川」のまちづくりでは、景観形成の基本となる「りほんシティオ那珂川景観形成方針」を定めたが、より具体的な景観形成のルールとして、公共施設整備や大規模住宅団地開発に共通する事項について景観ガイドラインを定め、設計デザインに関する共通のルールとすることとした。

植栽ガイドライン

景観方針では、緑に関するテーマとして、那珂川の豊かな緑を大切に守り育てながら、那珂川に連なる通りや広場を積極的に緑で演出し、中央緑地軸の広がりや深みを目指している。

- 花や樹木などによる四季が感じられるまちなみの演出
- 河川空間の広がりをまちに取り組むための眺望を阻害しない植栽計画
- 風を感じるため、風にそよぐ樹木の採用
- 植栽の連続による、歩いて楽しい道筋の演出

色彩ガイドライン

「りほんシティオ那珂川」の景観形成の特色は、那珂川の自然環境を十分に活用したまちなみの演出にある。

- ふるさとの川整備事業によって新しく生まれ変わった那珂川のリバーフロントや水面の景観と調和する配色計画
- 水辺から見たまちの表情の演出
- 河川と連続する一体的で解放感のある表情の演出
- 歩いて楽しいまちなみの演出

橋梁景観ガイドライン

「りほんシティオ那珂川」では、人々の生活を結ぶ機能が「りほん」というまちづくりのコンセプトにも取り入れられており、区域内の2km程度の短い区間に8本もの橋梁が架かる。そこで、連なる橋の表情と河川との調和を図り、水辺空間を魅力づけることを定める。

- 橋を魅力づける
- 隣り合う橋とバランスを考え、全体の調和を図る
- 魅力的な歩道空間をつくる
- 風とふれあう場を演出する

計画概要

- 位置 博多区美野島三丁目・四丁目、竹下一丁目
南区清水二丁目、塩原一丁目、五十川一丁目、高木一丁目
- 地区面積 83.9ha
- 住宅施設 1,800戸
住宅・都市整備公団 (TEL 092-722-1079)
賃貸住宅700戸
本州コーポレーション (TEL 092-452-0099)
分譲住宅555戸、賃貸住宅131戸
- 公共施設 道路4路線 公園・緑地3カ所 河川環境整備
- 事業期間 平成5年度から14年度まで(予定)

